

[産業建設常任委員会所管関係]

No. 1

震災による道路・下水道の復旧に関すること

意見・質問・要望等

大震災の被害が44億円とあるが、今年中に全部復旧出来るのか。
【東根地区】

当日の回答

激甚災害の場合、国の査定後に復旧工事が始まり、年度内に直すのが基本ですが、今回市民センター大ホールや市役所庁舎などの建物被害もあるので、持ち越しになる部分もあります。市民生活や通行に支障のあるマンホールの飛び出しなどについては、年度内に終了するよう、議会からも要望いたします。

今後の取組み

公共下水道については、中心市街地に被害が集中しているとともに、被害額も多額で事業量も多いことから、繰越工事も念頭に入れ、平成25年度までの3年間で工事を平準化し災害復旧を図る予定です。
なお、マンホール周辺等の危険な箇所等については随時修繕してまいります。【下水道課】

10月中旬に国の災害査定が終わり、その後、平成23年度内に、下水道復旧工事重複箇所以外については道路復旧工事を発注する予定です。下水道関連の道路の復旧工事につきましては平成24年度以降となる見込みです。【土木建築課】

No. 2

震災による道路・下水道の復旧に関すること

意見・質問・要望等

市で仮工事をして頂いていますが、マンホールが上がっているところがあり危ない所がある。地域のことについてはその都度、市にお願いしているが、雨が降ると悪くなる。ひどい所は30cm下がる。こまめに道路の巡回し対応をして欲しい。【桜地区】

当日の回答

この件につきましては過日、震災特別委員会があり、この問題もできました。特に下水道関係では、今、国の検査を受けている状況です。8月に補正予算が出され、9月に入札し工事に入る予定ですが、それまでどうするのかについて議会から要望が出され、早急に特に交通量が多く危険度が高い場所については、アスファルト乳剤等で固めるなどの取り組みをしております。本日午後4時から角田自治センターで行った議会報告会でも同様の意見がありました。その中で協働のまちづくりも活用すべきとの意見がありました。役所で対応できないのなら、砂利を置く場所を借りて地域の方が対応をすることを行ったらよいのではという提案がありました。こういう時こそ、予算を使うのではなく、皆で自分のところの道路を管理しようということでありました。要望として受け賜ります。

今後の取組み

国による災害現地査定が7月で終了しましたので、交通量の多いところ、通学路等でいたみの酷いところから防塵舗装により仮復旧を図っているところです。
平成23年度発注工事分については8月の議会で予算化し、工事を発注しましたが、すべて復旧するには、平成25年度いっぱいかかる見込みです。
雨天の後には随時道路パトロールを行い、危険箇所等を発見した場合はその都度補修しておりますが、次々と沈下箇所が発生するため、対処しきれない状況にあります。
危険な箇所を発見した場合は早めに下水道課までお知らせくださるようお願いいたします。【下水道課】

No. 3

震災による道路・下水道の復旧に関すること

意見・質問・要望等

道路の復旧はいつごろまで要するのか。【角田地区(南ブロック)】

当日の回答

現在、国の査定を受けており、順次進めています。

今後の取組み

平成23年度内に、下水道復旧工事重複箇所以外については道路復旧工事を発注する予定です。下水道関連の道路の復旧工事につきましては平成24年度以降となる見込みです。【土木建築課】

意見・質問・要望等

① 3月11日の地震で、市内各所の道路状況が悪い。早く修理してもらえないのか。

② 道路の穴埋めは、私たちがやるので、道端に砂利を山積みにして置いてもらえないか。雨などで穴ぼこができた場合に、地域住民に穴ぼこの所を埋めるなどしてもらい、地域で補修できるのではないかという意見が出てきているがどうか。【角田地区(中央ブロック)】

当日の回答

① 8月14日に「ふるさと夏まつり」が開催されます。しかし、会場となる中央通りの路面が凸凹で、大変危険であり、市外からの観光客の角田市のイメージを低下させないためにも、アスファルト乳剤で応急修理やっていく方向です。

また、そのほかの所も、交通量の多いところから補修していきます。皆さんから、強い要望があったことを当局に伝えます。

②角田市が進める「協働のまちづくり」として、大変貴重なご意見をいただきました。この件については持ち帰らせていただき、当局にも報告します。

今後の取組み

① 角田市が管理している市道における東日本大震災の被災箇所は現在、214箇所となっております。このうち69箇所は国の補助を受けながら復旧する計画であり、10月中旬に国の災害査定を終えました。その後、平成23年度内に、下水道復旧工事重複箇所以外については道路復旧工事を発注する予定です。

また、災害復旧までには相当の期間を要するわけですが、この間、道路沈下箇所につきましては、被害の程度・交通量の多寡・周辺家屋への影響を考慮しながら、仮復旧(アスファルト舗装)で対応します。すでに、一部ですが、マンホール周辺28箇所や、中央通り外16路線のアスファルト舗装復旧工事を実施しております。

② 道路の沈下箇所につきましては、液状化現象によるものと考えておりますが、場所によっては一気に沈下が発生しないで徐々に沈下する場所があります。ご提案あったとおり周辺の方々で簡易に対応できる場所については、ご協力いただければ大変ありがたいことですので、地元行政区長さんを通して相談しながら対応したいと思えます。【土木建築課】

意見・質問・要望等

①現在路上に砂利を敷き詰めているが、簡易舗装などは駄目なのか。

②震災時、工事がいい加減、中が空洞なんだから駄目だ。角田の対応は遅い。のんびり型だ。職員も議員の対応も話にならない。【角田地区(西・北ブロック)】

当日の回答

①その通りだと思います。災害特別委員会でも、強く指摘要望してありますが、現在査定が終了したものの、応急処置であり9～10月ごろからの復旧工事となります。業者も少ないし、順番もあることから、早期復旧に向け努力することを願っています。

②事実調査の上、対応させていただきます。

今後の取組み

① 災害復旧までには国の災害査定を受けなければならないことで相当の期間を要しますので、道路沈下箇所につきましては、応急で採石での対応をしておりますが、被害の程度・交通量の多寡・周辺家屋への影響を考慮しながら、仮復旧(アスファルト舗装)でも対応しております。すでに、一部ですが、マンホール周辺28箇所や、中央通り外16路線のアスファルト舗装復旧工事を実施しております。

② 道路の沈下箇所につきましては、液状化現象によるものと考えておりますが、場所によっては一気に沈下が発生しないで徐々に沈下する場所があります。角田市が管理している市道における東日本大震災の被災箇所は現在、214箇所となっております。このうち69箇所は国の補助を受けながら復旧する計画であり、10月に国の災害査定を終えました。平成23年度内に、下水道復旧工事重複箇所以外については道路復旧工事を発注する予定ですので、今しばらくお待ち願います。【土木建築課】

意見・質問・要望等

①道路工事はいつごろから始まるのか。市長からも10月ころに着工すると聞いているが、神次郎の工事はいつごろになるのか。どうにかならないか。

②柴田町は、もう工事が始まり直している所がある。角田市も早くしてほしい。【北郷地区】

当日の回答

①15工区に分けて工事を始める予定と聞いています。なるべく地元の業者を使い、経済活性化と雇用促進になるようお願いしています。

②砂利等での簡易舗装では、雨が降るとめっちゃめっちゃになります。アスファルト乳剤で固めるような方法を取るような方法になると思われま。危険度が高い所はどこか、市で調査しているが、早急に工事をするように進言します。

今後の取組み

10月に国の災害査定を終えましたが、その後に工事を発注することになります。平成23年度内に、下水道復旧工事重複箇所以外は道路復旧工事を発注する予定ですので、神次郎地区の工事についても、神次郎地区には下水道がないので、平成23年度に工事が完了できるものと考えております。

なお、道路沈下箇所につきましては、被害の程度・交通量の多寡・周辺家屋への影響を考慮しながら、仮復旧(アスファルト舗装)で対応しております。【土木建築課】

No. 7	震災による道路・下水道の復旧に関すること
意見・質問・要望等	町を歩いていると道路に凹凸がありそこに砂利等をまいたりしているが、雨が降るとまた凹凸になる。どうにかならないか。【角田地区(田町・東ブロック)】
当日の回答	現在、国・県の査定を受けています。8月定例会に道路改修の予算が計上され、9月に入札、10月に発注をして道路を直していきます。基本的な考えとしては、人通りの多い所を優先に回収していく予定です。8月には、「ふるさと夏まつり」が開催されますが、会場となる本町から仲町、天神町、西田町の通りは、怪我をしないよう、そして、外からのお客様のイメージダウンにならないよう、簡易修繕するよう要望しています。
今後の取組み	道路の沈下箇所につきましては、液状化現象によるものと考えておりますが、場所によっては一気に沈下が発生しないで徐々に沈下する場所があります。 ご指摘の採石での対応のほか、被害の程度・交通量の多寡・周辺家屋への影響を考慮しながら、仮復旧(アスファルト舗装)で対応しておりますので、行政区長さん等を通してご連絡いただければ対応します。【土木建築課】
No. 8	震災による道路・下水道の復旧に関すること
意見・質問・要望等	道路の災害の件ですが、藤尾10区の復旧はなかなか進まないようですが、今後の見通しはどうか。【藤尾地区】
当日の回答	7月末までに査定を終わらせ、その後に発注をします。優先順位をつけて施工していくので、もう少しお待ちください。 危険な箇所は区長さんを通して連絡をお願いします。
今後の取組み	現場は庄司堀川沿いの市道春日是入線だと思っておりますが、再度確認しましたところ、地震で被災したというより経年劣化で道路が傷んでいる状況です。この箇所については、通常の道路維持管理で補修していきたいと考えておりますので、今は災害復旧優先で工事等を行っておりますことから、いましばらくお待ち願います。【土木建築課】
No. 9	震災による道路・下水道の復旧に関すること
意見・質問・要望等	○7月29日地区振興協議会への説明があるようだが、地区計画策定により予算化された事業は、すべて延期のようだ。我々も我慢するから市も一生懸命やって欲しい。 ○枝野～金山(原町)間の堤防について安全面ではこれまでも危惧していた。今回、水害ではない形での破損だったのである意味よかった。 国土交通省では今後、本格的に堤防築堤に着手するとのことで安堵しているが、その堤防は雨量300mmでも耐えられるような対策をするのか。【枝野地区】
当日の回答	確認します。
今後の取組み	今回の東日本大震災で被災した阿武隈川堤防の復旧は、国土交通省で実施します。復旧方法としましては、崩壊した堤防下の地盤について、土質調査を実施後、緩んだ地盤については地盤改良工事を実施し、その後に、築堤盛土を実施する予定となっております。【土木建築課】

No. 10	震災による道路・下水道の復旧に関すること
意見・質問・要望等	寺前笠島線アルプス前の陸橋早期復旧をして欲しい。【角田地区(西・北ブロック)】
当日の回答	8月下旬～9月目標で、とりあえず普通車までは片側通行可能にしたい計画です。
今後の取組み	<p>角田跨線道路橋につきましては、3月11日以降、車両通行止め(自転車・歩行者は通行可)としておりましたが、仮復旧工事をしまして、8月7日(日)午前9時から、片側交互通行で通行となりました。ただし、大型車につきましては、今までどおり通行止めとなります。</p> <p>今後、平成23年度内には全面復旧の予定で、詳細については現地予告板等でお知らせしていきます。【土木建築課】</p>
No. 11	震災による道路・下水道の復旧に関すること
意見・質問・要望等	ホーチキの交差点から西に向かう道路について、歩道がひどい被害を受けているが、応急で砂利を敷き看板を付け対応をしているが、復旧工事の日程を分かるようにして欲しい。【桜地区】
当日の回答	国の査定を受けたと思います。8月議会に予算案が出されて、10月に工事発注、年度内完成を予定しています。
今後の取組み	<p>当該路線については、10月に国の災害査定が終わりました。その後、平成23年度内に、下水道復旧工事重複箇所以外は道路復旧工事を発注する予定です。下水道関連の道路の復旧工事につきましては平成24年度以降となる見込みです。</p> <p>今後、工事の日程等については、看板等でお知らせしていきます。【土木建築課】</p>
No. 12	震災による道路・下水道の復旧に関すること
意見・質問・要望等	<p>①北岡の駅前の住宅街の道路破損はいつごろ直るのか。</p> <p>②阿武隈急行の陸橋は小学校の通学路になっているが、歩道が危険である。片側通行で信号機が付いているが、GOサインの色が見にくい。出来れば取り替えて欲しい。</p> <p>③千間堀の災害復旧工事について、地震で壊れたままである。完成はいつごろになるのか。【北郷地区】</p>
当日の回答	<p>①年度中には整備出来ると思う。</p> <p>②阿武隈急行は370箇所、3億8000万円の被害があるが通勤通学の部分は早急にと当局に持ち帰り要望を伝えます。</p> <p>③千間堀の戸別の部分は、本日はっきり言えないが当局とやり取りする。個人の境界の法面もすっかり落ちているが、測量して期限内に対応するよう口頭で当局に話します。</p>
今後の取組み	<p>① 具体的な箇所は確認できませんが、10月に国の災害査定を終え、その後、平成23年度内に、下水道復旧工事重複箇所以外については道路復旧工事を発注する予定です。</p> <p>② 現地を確認の上対応します。</p> <p>③千間堀の災害復旧工事につきましては、国の査定が終わりましたので、8月議会に追加補正予算を提案し、議決後、事務手続等を行い9月から10月頃の工事発注と考えております。完成は年度内完成を目標としています。【土木建築課】</p>

[産業建設常任委員会所管関係]

No. 13	震災による道路・下水道の復旧に関すること
意見・質問・要望等	神次郎の道路、館に補修の採石が散らばっている。自転車も人も車も危険である。早く整備してほしい。【北郷地区】
当日の回答	期限内に整備できるよう当局に伝えます。
今後の取組み	具体的な箇所は確認できませんが、10月に国の災害査定を終え、その後、平成23年度内に、下水道復旧工事重複箇所以外については道路復旧工事を発注する予定です。 なお、道路沈下箇所につきましては、採石での対応のほか、被害の程度・交通量の多寡・周辺家屋への影響を考慮しながら、仮復旧(アスファルト舗装)でも対応しておりますので、行政区長さん等を通してご連絡いただければ対応します。【土木建築課】
No. 14	道路等に関すること
意見・質問・要望等	防犯パトロール中に思ったのですが、市道に木の枝が垂れ下がっている。交通の支障になるので何とかしてほしい。【藤尾地区】
当日の回答	持ち帰り担当課に報告し相談します。
今後の取組み	道路交通の支障となる樹木や樹枝については、道路区域以外から繁茂の場合は所有者が、道路区域内の場合は管理者が支障木伐採処理することで対応しております。 角田市においては、道路パトロール等において発見した場合はその都度対応しておりますが、全長576Kmのすべての路線の対応は難しい状況であるため、地元行政区長さん等を通して角田市へご連絡いただければ、現地調査の上対応します。【土木建築課】
No. 15	農業に関すること
意見・質問・要望等	市内の農産物の風評被害は出ていますか。【角田地区(南ブロック)】
当日の回答	市長の報告では、JA等で風評被害は出ていないとのことでした。
今後の取組み	農産物での風評被害はありません。【農政課】

意見・質問・要望等

今のところ、飲み水や農作物には放射能が不検出若しくは少ないとされているが、阿武隈川の川底に溜まったヘドロはどうなるのか、これから心配になってくる。

丸森町は(ホットスポットを把握知るため)地図を作ろうということが新聞に掲載されている。放射能に対して市、議員を含め、どのように進んでいくのが心配、報道をみての通り、国を含めどこも後手、後手である。今は大丈夫というが、例えば農作物に対してこういう対策を講じるということがあればお聞きしたい。【桜地区】

当日の回答

放射線、放射性物質については全てことの下流の問題があると思います。下水、雨水最終処分場の汚泥等はかなり高濃度になっています。ごみ焼却場の煙は問題ないようだが、途中のバグフィルターでダイオキシン等を取り除く部分があり、ここがかなり高濃度になってきます。このまま続けていけばそれをどこに処分するのかという問題はたしかにあります。先程説明いたしました但し飲み水については不検出でした。数値は色々変わっても放射線、放射性物質があるという現実の中で子ども達も含めどうしたら良いのかという問題があり、自己防衛をする努力も必要であると思います。1つはインフルエンザと同じようにマスク、手袋、帽子等の着用で放射線物質に触れないようする。2つ目に放射線物質を体の中に取り入れれないように手洗いうがい等を行う。3つ目は体の中に留まらないようにすることが大切だと思っております。

今後の取組み

農産物の安全確保と不安解消のため、県は、週一回農産物の放射能測定を実施しています。角田市も補足的に8月から農産物の測定を実施し、公表しています。すべてが、基準値以下であることが確認されています。さらに、8月末に簡易放射能測定器を購入して、市民の方々の農産物の放射能測定も実施しています。【農政課】

意見・質問・要望等

「田園都市かくだ」は、阿武隈川の水を使用している。きれいな水なら良いが、濁り水も来ている。それが田んぼに使われます。それがどうなるかを追いかける必要があるのではないかと。内部被ばくをしない取組みをすべきではないのか。現在、麦等は問題なく出荷しているようだが、対応をお願いしたい。【桜地区】

当日の回答

そのような調査できる機械を購入します。安全、安心なものを出荷できるよう調査して行きます。

今後の取組み

県が主体になって穀物の放射能測定を行い、すべての穀物の検査が終了し、基準値以下であることが確認されています。穀物(大麦・米・大豆・そば)【農政課】

意見・質問・要望等

①酪農をしている者ですが、5月に刈り取った草を食べさせない様、自粛の指導がありました。それについて、補償や処分はあるのか。国では補償するということを聞きましたが、具体的に国・県の対策は出ていないようですが、いかがですか。

②デントコーン(家畜用飼料)についてはどうですか。【藤尾地区】

当日の回答

①一番草を測定したら丸森町筆甫の町営牧場で1,530ベクレルありました。300ベクレル以上は自粛するようとのこと。作業日誌等の記録をしておいて、請求できるようにしておいてください。また、流通等もきちんと管理してくださいとのこと。7月20日には東京電力からの損害賠償請求の説明会があるそうです。

②市長答弁では播種しても良いとのこと。県の方と技術的な指導などを協議しながら、今後対処していきたいとのこと。

今後の取組み

①牧草で暫定規制値を超えたことから、給与の自粛がなされているところ。賠償請求の詳細はわかりかねますが、農業団体では、農家からの委任を受け取りまとめて請求を行うと聞き及んでいます。なお、牧草の給与の自粛は現在解除になっています。

②県から作付は可能であると示されています。【農政課】

意見・質問・要望等

角田市の市有地とする条件は、どのようになっているのか。私の宅地周りに市有地があり、土地改良、農業委員会に話しても埒が明かない。【西根地区】

当日の回答

持ち帰って当局に説明させます。

今後の取組み

別件で相談があったので、その内容で回答します。
新農業構造改善事業により角田土地改良区が事業主体として行った圃場整備で、昭和59年2月21日付けで国有地に換地した土地です。現在は、平成16年4月19日に国有地の譲与を受け市有地となっているものです。
事業主体である土地改良区に確認したところ、昭和59年に換地し現在まで問題もなく27年経過しているため、換地に問題は無いものと考えている。また、隣接地の所有者は現在行方不明であり、申立人は所有者の親戚で不在者管理人となっている。このため、圃場整備の換地時の事情等は知らないものと思われるとのことでありました。
【農政課】

意見・質問・要望等

角田のブランド創りどこまで進んでいるか。ブランド化についてスピード感をもって、しかも、進捗状況が解るように情報開示して欲しい。
【西根地区】

当日の回答

角田の産物をブランド化していく考えで進んでいるが、未だ大きな成果が出ていません。当局に伝えます。

今後の取組み

ブランド構築推進事業は、地域活性化のひとつの手段であり、その本質は地域資源を最大限に活用して地域が潤うしくみをつくることであると考えています。地域が潤うしくみとは、地域のモノやサービスが良いイメージの下に売れ続ける仕組みであり、地域に金が落ちるしくみともいえます。その背景には、人が街を歩き、食事や買い物をし、宿泊もしたくなるような居心地の良い環境が基本になければなりません。つまり、角田のモノを買ってみたい。角田に行ってみてみたい。角田に住んでみたい。と考えてくれる人を如何に増やしていくかに尽きます。

角田ブランド推進課では、そのためのひとつの戦略として、「おいしいかくだ」構想を提唱しています。これは、「角田＝おいしい」というイメージを定着させ、前述の角田に対する良いイメージを持つ人を増やし、入込客数(交流人口)を増やしていこうというものです。

具体的には、角田のおいしいものを実際に食べてもらうため、角田産の食材を使ったメニューを提供し地産地消に積極的な飲食店を募集登録し、その飲食店を核にして角田の食情報を発信しようというのですが、震災により出遅れたものの6月19日の梅まつりに合わせた形で角田産食材提供店推進事業としてスタートしました。当初の参加店は17店舗ですが、今後は登録店を増やしながらか、「味」や「もてなし方」などのレベルアップを図るとともに、実質的な地産地消を推進するために飲食店と市内の食材生産者との情報交換を行い新たな流通のしくみづくりなどを模索する予定です。

なお、ご指摘のように事業展開の予定や実施状況を市民の皆さんと共有することは非常に重要なことですので、広報かくだや市のホームページなどに掲載することはもちろん、各地区の自治センターなども連携するなど情報の開示に努めます。【角田ブランド推進課】

意見・質問・要望等

堆肥センターの件ですが、あの方式ではうまくいかないのではないかと。故障も多いし、修理も大変だし、疑問に思います。今後大変だろうと思いますが、どうなっていくますか。【藤尾地区】

当日の回答

産業建設常任委員会でも大問題になっています。立ち上りの当初3年間は議会でも認めていました。4年目、5年目になっても全く改善の兆しが見えませんでした。昨年は800万円を超える修理代、年間2,500万～3,000万円の赤字。メンテナンスも外国製の機械なので大変です。県の補助金を受けての補助事業ですが、辞めることになれば補助金返還ということもあり得るので、常任委員会では補助金返還も視野に入れ、8月決算議会で確認していきたいと思っております。

今後の取組み

平成22年度においては、攪拌機の故障により長期に亘っての停止期間がありました。そのため、メンテナンスに関して計画的実施し長期的な停止をしないようにしております。

また、稼働率の向上のため原料たい肥搬入量の増加を図るための、利用組合員の再編、運搬車の購入による計画的搬入等を行っており、当初計画を達成するように努力しているところです。【農政課】

意見・質問・要望等 今回の被災で雇用促進住宅に住んでいる方々は、網戸がなくて困っているようだ。どうにかできないのか。どこでも支援していかないのか。【角田地区(中央ブロック)】

当日の回答 持ち帰り対応させていただきます。

今後の取組み 雇用促進住宅の所有者である独立行政法人雇用・能力開発機構に問い合わせたところ、賃料を設定する際、標準設備に網戸を含めていないとのこと。そのため、現時点では網戸を設置する予定はないとの回答でした。なお、市としても現時点では網戸を設置する予定はありません。また、窓枠に網戸を設置できるレールがありませんが、個人で工夫して網戸を取り付けている方もいらっしゃるようです。【商工観光課】

意見・質問・要望等 ①枝野の水道水は阿武隈川の水ですが、大丈夫なのか。飲料用等には水道水を使わない家庭が多い。不安解消のために、広域の水を隈東地区に供給してもらえないか。

②経費がかかろうとも人の安全を優先するように考えて欲しい。

③必ずしも角田市の予算ですることはない。【枝野地区】

当日の回答 ①数字上は問題ありません。東根橋に水道管はあるが現在止めています。いざとなれば水垢や錆等をおとして使用できるのではないかなど、確認してみます。

②誰が安全を判断するのかという点については考えねばなりませんね。勉強会が必要と感じます。
[出席職員 南部局長]角田橋の所に100ミリの管が通っています。この太さでは隈東分はまかないきれないと思います。そして、東根にある管は、だいぶ古くなっています。

③ご意見として伺います。

今後の取組み ①今般の福島第一原子力発電所からの放射能漏れに伴う放射能の影響について
枝野浄水場の水からは現在のところ検出されない状況であり、飲料水として問題ないものです。
広域水道水については、現在も隈東地区に一部配水しています。また、東根橋の配水管布設替えも計画していますので、今後、広域水道水からの配水量増加を見込んでいます。
なお、枝野浄水場及び小田浄水場の水、広域水道水の放射能分析結果については、東北大学の協力を得て実施しているものです。

②・③考え方としては、まず安全で安定的な水の供給が本旨であり、これに伴う財源、また、費用対効果、効率性も重要であります。また一方では、浄水場や水道管の老朽化も進んでいます。
現在、これから10年程度を計画期間とする角田の水道ビジョンの策定に着手しており、このなかで、災害対策も含め総合的に検討していくこととしています。【水道事業所】

意見・質問・要望等

隈東地区は阿武隈川から取水し、水道水を供給している。料金は安くしなくてもよいから、七ヶ宿の水質の良い水を飲ませてほしい。市内同一料金なのだから、隈東地区も美味しい水が飲みたい。せめて、混合して供給出来ないのか。【東根地区】

当日の回答

県との契約により、七ヶ宿から全市に供給するだけの量がありません。夏場の臭いも活性炭の使用により、改善されています。「せめて混合して供給出来ないか」については、水道事業所に確認します。

今後の取組み

現在、隈東地区は、枝野浄水場からの水と一部広域水道からの水を併せて配水しています。一般的に水は、浄水方法もさることながら、温度も関係しますので、冷水(14℃～16℃)にしますと美味しくなります。

平成24年度には、東根橋を通る水管橋の布設替えを計画しています(現在は使用できない状態です。)。このことにより、広域水道からの供給エリアが隈東地区にさらに拡大します。

また、当初から広域水道の計画にあるものですが、将来的には、リスク分散等の観点から、高倉地区に広域水道からの受水池建設計画があります。財源も併せて、今後水道ビジョン策定のなかで検討、整理してまいります。【水道事業所】

意見・質問・要望等

阿武隈川の水の心配ですが、どうなっていますか。【角田地区(中央ブロック)】

当日の回答

「角田市からのお知らせ」(第13号・第14号)で市民に周知している。その文書の中に「水道水の検査結果」を掲載しています。

放射性ヨウ素、セシウムともに不検出の結果でした。専門家の話によると、河川では下のほうに沈殿しながら河口に流れていくそうで、荒浜近辺の濃度が濃くなるのではないかと考えられます。

今後の取組み

今般の福島第一原子力発電所からの放射能漏れに伴う放射能の影響については、枝野浄水場の水からは、現在のところ検出されない状況であり、飲料水として問題ないものです。

なお、枝野浄水場及び小田浄水場の水、広域水道水の放射能分析結果については、東北大学の協力を得て実施しているものです。今後とも実施します。【水道事業所】

意見・質問・要望等

①西根のゴルフ場まで白石市の水道が来ている。そこから西根に引くことができないのか？水道事業や学区の問題など広域で行うことが有利なものについては、市町村の枠組みを超えて広域でできないか検討して欲しい。

②水道問題(現在、白石市から水道を引いている家もある)等々広域で取り組める事業については、広域で行う方向で検討頂きたい。【西根地区】

当日の回答

①角田市議会でも広域的視点が必要との考え方がでてきている。仙南地域広域行政事務組合議会の中でも現在の事務以外についても積極的に調査・意見交換しようという空気が強まっているように感じています。貴重な意見として承ります。

②持ち帰り検討します。

今後の取組み

①・② 水道事業の広域化については、仙南地区の市町(水道事業)で構成する連絡協議会がありますが、このなかでも、過去に議論されています。

しかしながら、現実的はなかなか共通の土台に立った話し合いなどが進んでいないのが現状です。

こうした意見があることをまずお伝えし、さらに議論を深めて、まずは共通認識に立ったうえでの課題検討など、一步一步進め課題提起をまいります。【水道事業所】